



# のぞき窓から情報表示装置に —レンズ交換式カメラに見る ファインダーの進化—の講演会



## ニコンミュージアムガイド付き見学/「AI NIKKORの魅力～ニコン社員による写真展～」鑑賞会

この企画は、日本写真学会会員、日本写真協会会員、NHK文化センターの森田晃様にカメラ現物を見ながら「**レンズ交換式カメラに見る ファインダーの進化**」についての講演をお願いし、その際、開催中のニコンミュージアム企画展「**AI NIKKOR の魅力～ニコン社員による写真展～**」の鑑賞会とニコンミュージアムのご厚意でガイド付き見学を組み合わせたイベントとなった。

### 第1部（ニコン本社会議室）

#### 『のぞき窓から情報表示装置にレンズ交換式カメラに見る ファインダーの進化』講演と現物体験

講師：日本写真学会会員、日本写真協会会員、NHK文化センター 森田 晃 氏

は、以下の1から4.の講演と、会場に持ち込んだ多数のカメラ実機のファインダーの説明と実機を見て、触って、ファインダーを覗いて体験して頂き、体験しながら質問や感想や意見交換の場となり、楽しい時間を過ごして頂くことが出来ました。

#### 1. レンズ交換式カメラの出現とレンジファインダー

- ・1931年にマウントが規格化されたC0ライカが登場、レンズ交換が出来るようになった
  - ・1932年にはレンズ連動距離計とファインダーを搭載したライカII型が登場、ピント合わせは作画用途は別窓
  - ・1936年ライカIII型から1窓式距離計連動ファインダー搭載
  - ・当時のカメラはレンズ交換毎にそのレンズ用のファインダーをアクセサリーシューに取り付けていた
  - ・レンズ交換毎にファインダーを交換しなくても良いようにターレット式ファインダーや焦点距離に応じた撮影範囲をファインダー視野に表示させた
- どの方式も不便でTTLファインダーが切望された

#### 2. 一眼レフの登場とカメラ電子化の始まり

- ・初めての一眼レフは1952年5月アサヒフレックスI型、ウエストレベルファインダー、TTL画像だが左右逆像
- ・1958年5角形プリズム、クイックリターンミラー、自動絞り機構搭載とほぼ現代と同じ機構搭載のペンタックスK型登場
- 翌年にはキヤノン、ニコンも参入、時代は一眼レフに移行、日本は一眼レフの力でカメラ界で世界の覇者となった

#### 3. ミラーレスカメラとEVF（電子ビューファインダー）

- ・焦点距離にかかわらずTTLで視野率100%の像が獲られる利便性はレンジファインダーを圧倒
- ・シャッターの高速制御、自動露出、オートフォーカス等々を実現するためカメラの電子化が進み、デジタル化に至る
- ・電子化でファインダー内にF値、ISO、フォーカスポイント等各種撮影情報が表示出来るようになった

#### 4. EVFのメリットとデメリット

メリット；色調、露出、ピント等撮影前から撮影結果を表示出来る／暗く肉眼で見えないところも明るく表示出来る／被写体を拡大表示出来るため、正確なピント合わせが出来る／ヒストグラム表示で事前に白飛びするところが確認出来る  
ファインダーから目を離さずに撮影後の画像を確認出来る／水準器の表示等補助情報を任意に表示出来る  
フルサイズから撮影範囲を小画角範囲に切り替えても視野率100%で表示出来る／ファインダー像を表示するのにミラー不要のため連写時もブラックアウトしない

デメリット；電子画像のため人によってはちらつきを感じる／表示にはカメラ内画像処理が必要で、僅かだが表示遅れがあるため高速動体が苦手（解消しつつ有る）／表示素子を絶えず通電するため電池の消耗が早い／電池切れ状態ではEVFは全く何の役にも立たない

※EVFはあくまでも加工画像の為、OVFと比較すると見え方が不自然である =撮影の仕上がり結果そのまが見られる利点でもある

#### 5. 実機を見てファインダーを覗いていただく体験



森田氏による講演

テキストが配られ、パワポの資料と講演内容をメモする参加者が多くおられました。



← 実機の説明を聞きながら  
持って触って体験



→ 多くの実機のファインダー  
を覗き比べて、意見交換

## 第2部 (ニコンミュージアム)

### ニコンミュージアムのガイド付き見学会と企画展「AI NIKKOR の魅力～ニコン社員による写真展～」鑑賞会



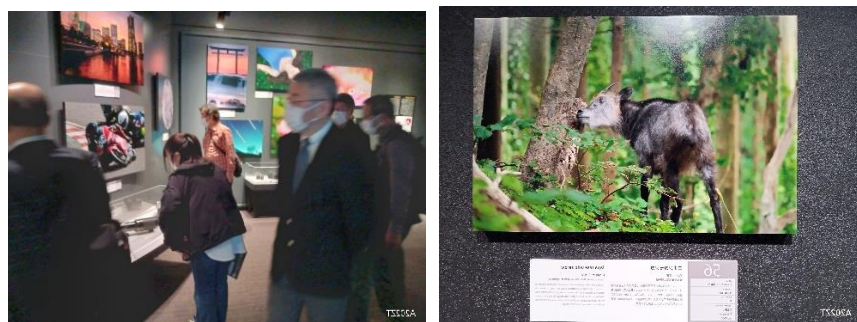
ニコンミュージアムの見学会と鑑賞会の前に、ニコンミュージアム入り口で参加者全員での記念撮影

### ニコンミュージアムのガイド付き見学会



ニコンミュージアムガイド付き見学会風景；ガイドの丁寧な説明を聞きながらの見学になりました。

### 企画展「AI NIKKOR の魅力～ニコン社員による写真展～」鑑賞会



作品展示の下に使用したレンズがおかれ  
このような作品にはこのレンズがふさわしい  
ことがよく分かる展示になっていた。  
作者や撮影条件なども詳細な説明があり  
興味深い企画展です。